

【3 教育ファームに係る取組の問題点】

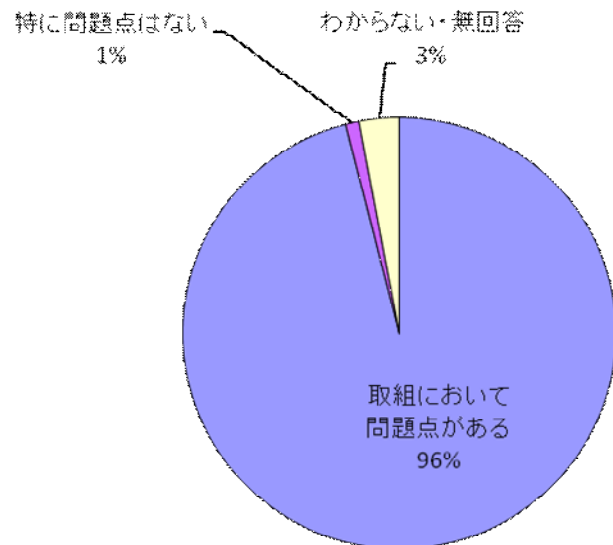
◆ 教育ファームに取り組むにあたっての問題点は何か。問題の解決には何が有効なのか。

(1) 学校における教育ファームに係る取組の問題点

① 小学校における問題点

農林漁業体験活動の取組を行っていない小学校の殆んどに、取組にあたっての問題点があると回答しており、時間の確保、体験の場の確保、指導者の確保の点が問題になっている。

○ 学校における取組の問題点の有無

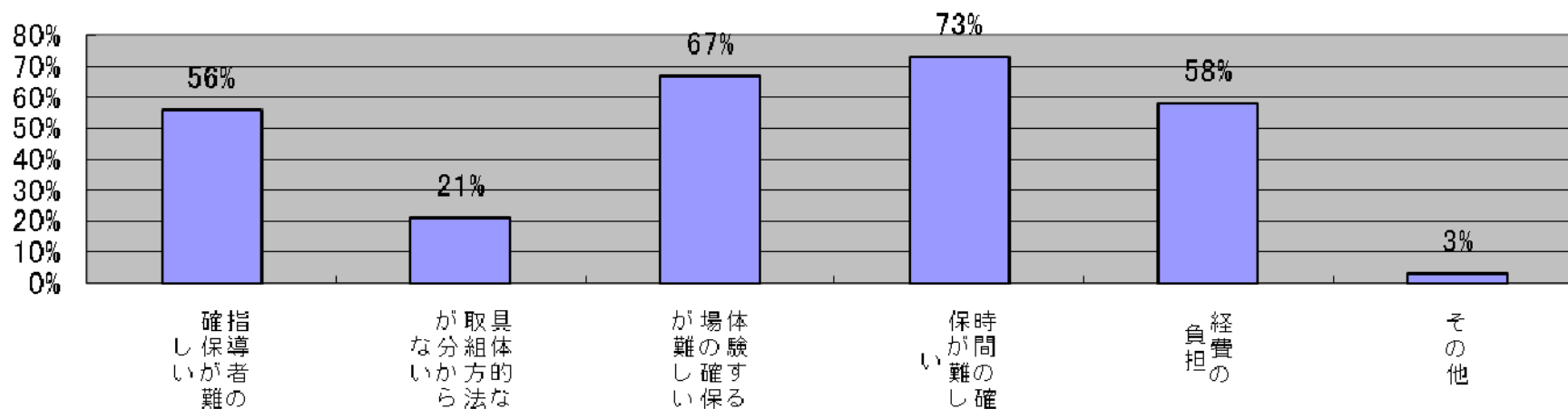


<データ>

回答総数	取組において問題点がある		特に問題点はない		わからない・無回答	
	数	比率	数	比率	数	比率
農林漁業体験活動に取り組んでいない小学校	266	96%	3	1%	8	3%

※学校アンケート結果により

○農林漁業体験活動に取り組んでいない学校における取組の問題点(複数回答)



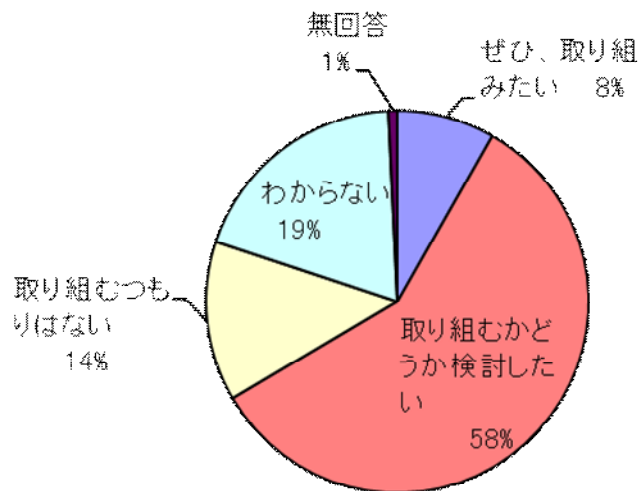
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない小学校	取組においての問題点(複数回答)があるとした学校 ※ 各項目の比率はそれぞれの項目ごとに回答した学校数の割合														特に問題点はない		分らない・無回答	
	指導者の確保が難しい		具体的な取組方法が分からない		体験の場の確保が難しい		時間の確保が難しい		経費の負担		その他		比率		比率			
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率		
266	149	56%	57	21%	177	67%	194	73%	154	58%	8	3%	255	96%	3	1%	8	3%

※学校アンケート結果により

現在、農林漁業体験活動に取り組んでいない学校の約66%が、今後「ぜひ、取り組みたい」または「取り組むかどうか検討したい」としており、取組の意向があるにもかかわらず、問題の所在により取組ができない状況であることが推察される。

○農林漁業体験活動に取り組んでいない学校の意向



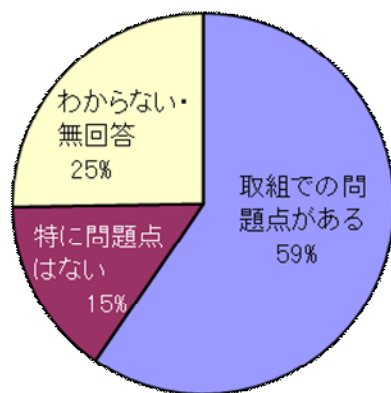
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない小学校	ぜひ、取り組みたい		取り組むかどうか検討したい		取り組むつもりはない		わからない		未回答	
	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率		
266	22	8%	155	58%	36	14%	51	19%	2	1%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験活動に既に取り組んでいる小学校では、約6割に取組にあたっての問題点があると回答しており、特に時間の確保の点が問題になっている。

○学校における取組の問題点の有無



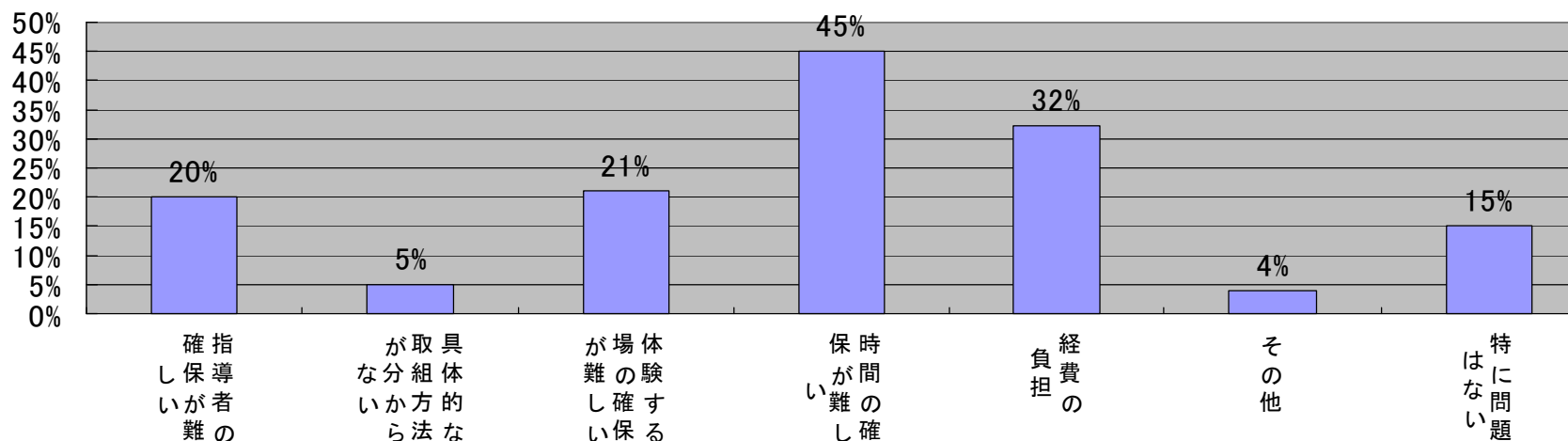
<データ>

回答総数	取組において問題点がある		特に問題点はない		わからない・未回答		
	比率	比率	比率	比率			
農林漁業体験活動に取り組んでいる小学校	1,363	809	59%	204	15%	350	25%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験活動に取り組んでいる学校では、取り組んでいない学校に比べすべての項目に、取組にあたっての問題点を指摘する学校の割合が少ない。

○農林漁業体験活動に取り組んでいる学校における取組の問題点



<データ>

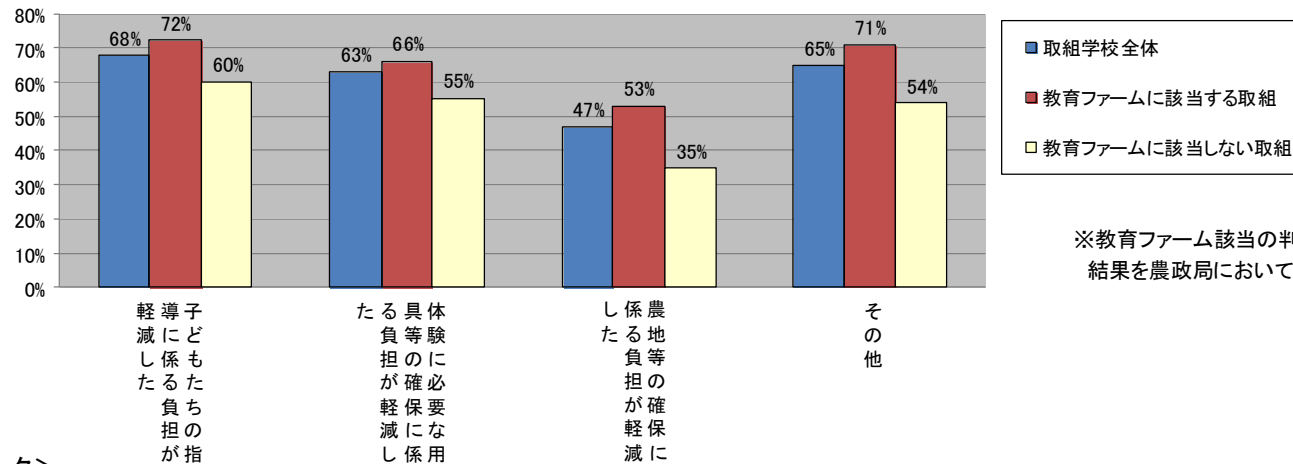
農林漁業活動に取り組んでいる小学校	取組においての問題点(複数回答)があるとした学校 ※ 各項目の比率はそれぞれの項目ごとに回答した学校数の割合												特に問題点はない	分らない・未回答				
	指導者の確保が難しい		具体的な取組方法が分からない		体験の場の確保が難しい		時間の確保が難しい		経費の負担		その他				比率	比率		
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率						
1,363	276	20%	68	5%	285	21%	613	45%	437	32%	61	4%	809	59%	204	15%	350	25%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験活動において、学校関係者以外からの協力を得ることで、子どもたちの指導に係る負担や体験の場の確保に係る負担等が軽減されており、指導者の確保や体験の場の確保といった問題点の解決が進んでいると推察される。

また、教育ファームの取組の場合は、そうでない場合と比べ、より多くの項目について負担の軽減が見られる。

○協力による負担軽減の状況



※教育ファーム該当の判断については、取組内容に関する質問への回答結果を農政局において教育ファームの定義と照合の上分類。

<データ>

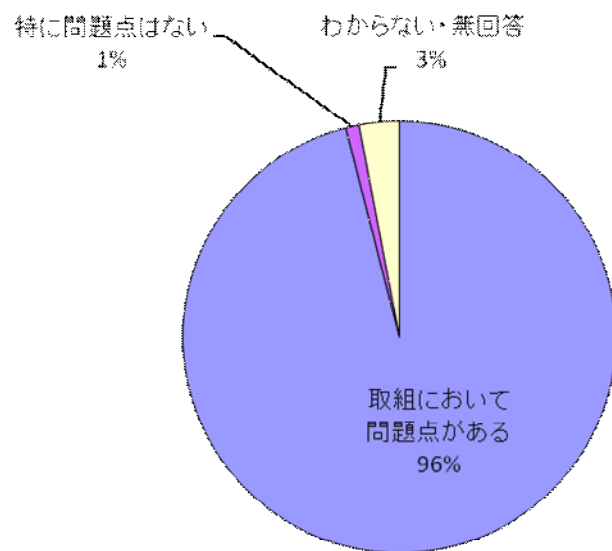
学校関係者以外から協力を得ている小学校	人数	協力による主な負担の軽減									連絡調整等の負担のみが増えた ※他に負担の軽減がない		特に負担の軽減はない		分らない・無回答		
		子どもたちの指導に係る負担が軽減した		体験に必要な用具等の確保に係る負担が軽減した		農地等の確保に係る負担が軽減した		その他		人数	比率	人数	比率	人数	比率		
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率								
全体	1,083	736	68%	682	63%	511	47%	708	65%	985	91%	26	2%	49	5%	22	2%
教育ファームに該当する場合	743	533	72%	494	66%	394	53%	525	71%	689	93%	14	2%	28	4%	12	2%
教育ファームに該当しない場合	339	203	60%	188	55%	117	35%	183	54%	296	87%	12	4%	21	6%	10	3%

※学校アンケート結果により

②中学校における問題点

農林漁業体験活動の取組を行っていない中学校の殆どに、取組にあたっての問題点があると回答しており、時間の確保が問題点として大きいですが、これに加え体験の場の確保、経費の負担、指導者の確保といった点が問題になっている。

○学校における取組の問題点の有無

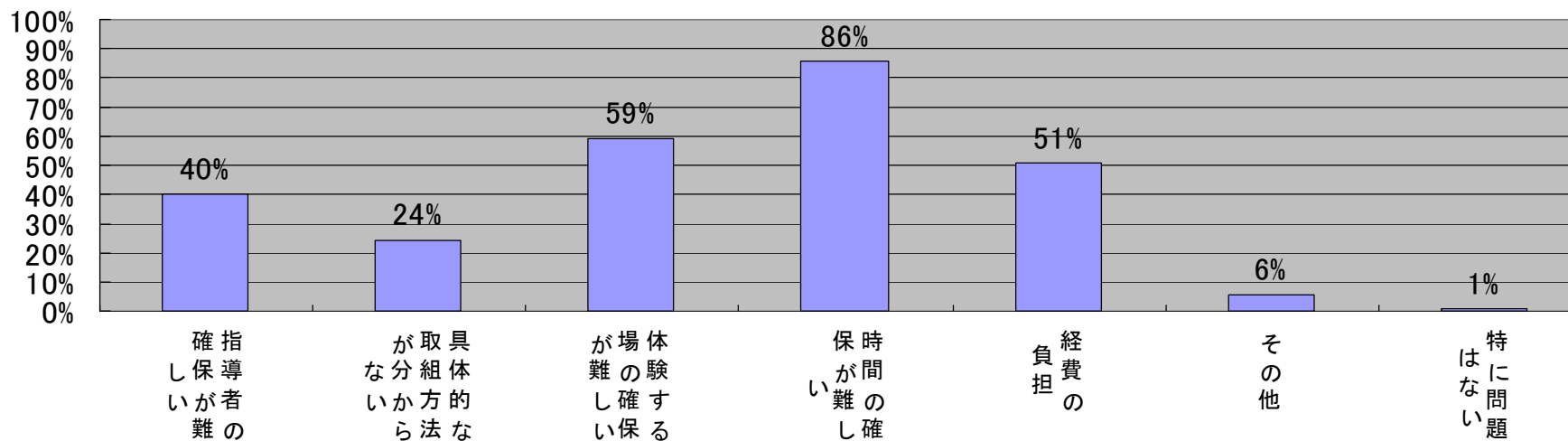


<データ>

回答総数	取組において問題点がある		特に問題点はない		わからない・無回答	
	比率	比率	比率	比率		
農林漁業体験活動に取り組んでいない中学校	562	541 96%	7 1%	14 3%		

※学校アンケート結果により

○農林漁業体験活動に取り組んでいない学校における取組の問題点(複数回答)



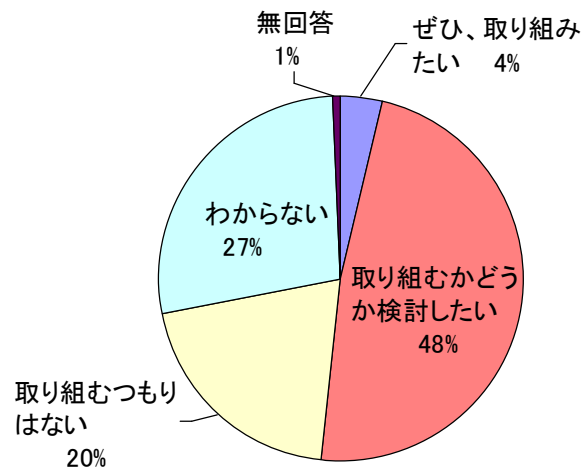
<データ>

農林漁業 体験活動に 取り組んで いない中学校	取組においての問題点(複数回答)があるとした学校 ※ 各項目の比率はそれぞれの項目ごとに回答した学校数の割合														特に問題 点はない	分らない ・ 無回答		
	指導者の確保 が難しい		具体的な取組 方法が分から ない		体験の場の確 保が難しい		時間の確保が 難しい		経費の負担		その他		比率					
	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率				
562	225	40%	136	24%	329	59%	483	86%	288	51%	32	6%	541	96%	7	1%	14	3%

※学校アンケート結果により

現在、農林漁業体験活動に取り組んでいない学校の約半数が、今後「ぜひ、取り組みたい」または「取り組むかどうか検討したい」としており、取組の意向があるにもかかわらず、問題の所在により取組ができない状況であることが推察される。

○農林漁業体験活動に取り組んでいない学校の意向



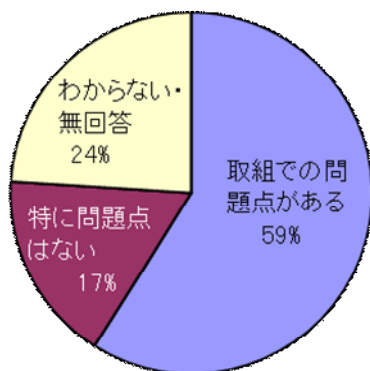
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない中学校	ぜひ、取り組みたい		取り組むかどうか検討したい		取り組むつもりはない		わからない		無回答	
	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率	比率		
562	20	4%	271	48%	114	20%	152	27%	5	1%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験活動に既に取り組んでいる中学校では、約6割に取組にあたっての問題点があり、特に時間の確保の点が問題になっている。

○学校における取組の問題点の有無



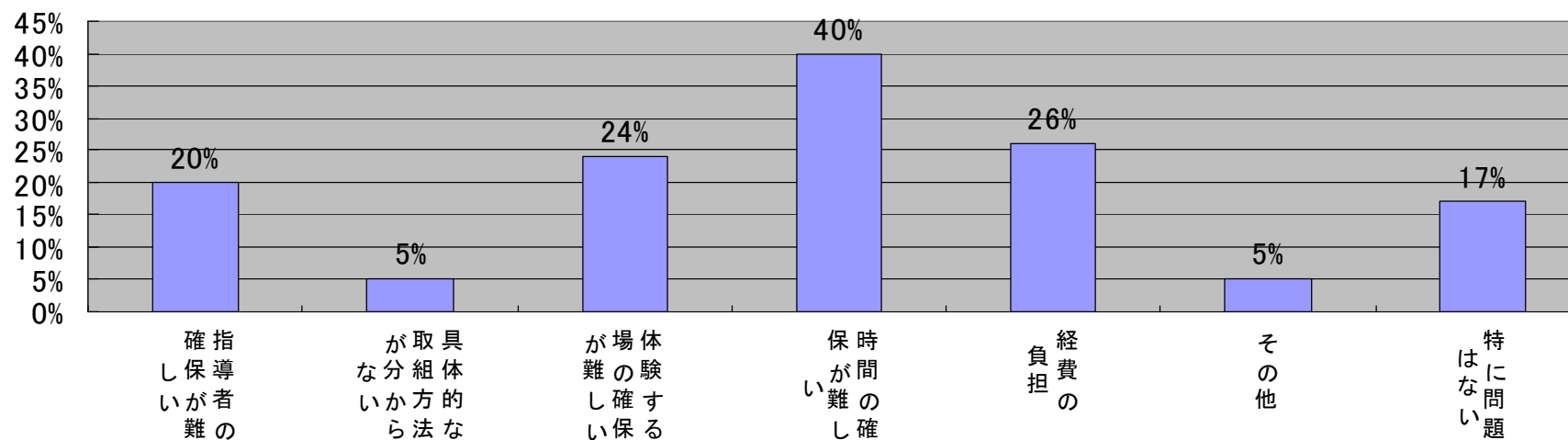
<データ>

回答総数	取組において問題点がある		特に問題点はない		わからない・無回答		
	比率	比率	比率	比率			
農林漁業体験活動に取り組んでいる中学校	322	190	59%	54	17%	78	24%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験活動に取り組んでいる学校では、取り組んでいない学校に比べすべての項目について、取組にあたっての問題点を指摘する学校の割合が少ない。

○農林漁業体験活動に取り組んでいる学校における取組の問題点



<データ>

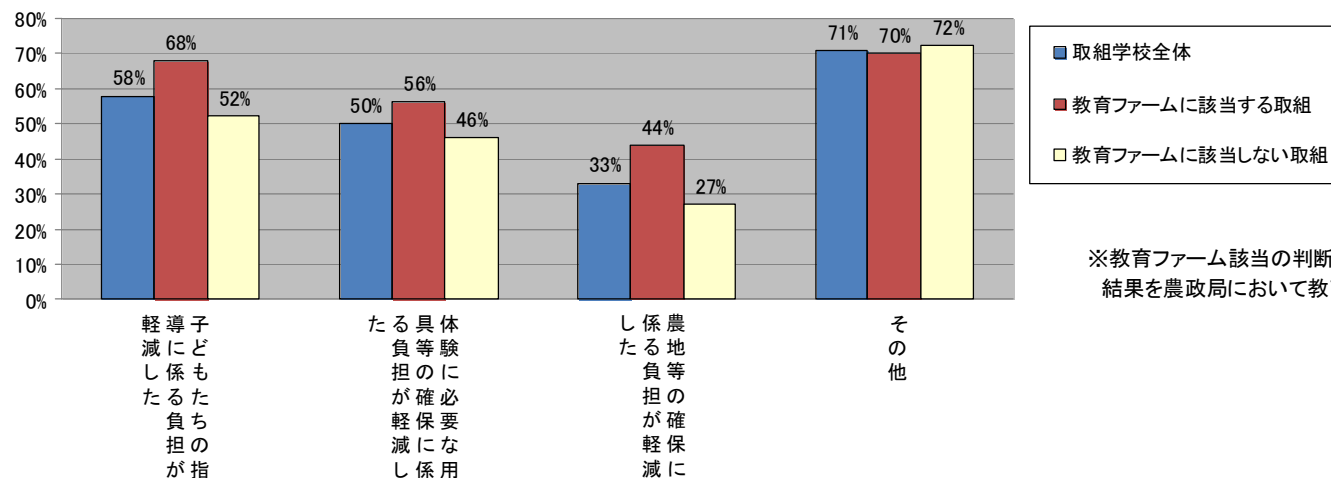
農林漁業活動に取り組んでいる中学校	取組においての問題点(複数回答)があるとした学校 ※ 各項目の比率はそれぞれの項目ごとに回答した学校数の割合												特に問題点はない		分らない・無回答			
	指導者の確保が難しい		具体的な取組方法が分からない		体験の場の確保が難しい		時間の確保が難しい		経費の負担		その他							
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率		
322	65	20%	17	5%	77	24%	130	40%	85	26%	17	5%	190	59%	54	17%	78	24%

※学校アンケート結果により

農林漁業体験活動において、学校関係者以外からの協力を得ることで、子どもたちの指導に係る負担や体験の場の確保に係る負担等が軽減されており、指導者の確保や体験の場の確保といった問題点の解決が進んでいると推察される。

また、教育ファームの取組の場合は、そうでない場合と比べ、より多くの項目について負担の軽減が見られる。

○協力による負担軽減の状況



※教育ファーム該当の判断については、取組内容に関する質問への回答結果を農政局において教育ファームの定義と照合の上分類。

<データ>

学校関係者以外から協力を得ている中学校	人数	協力による負担の軽減								連絡調整等の負担のみが増えた ※他に負担の軽減がない		特に負担の軽減はない		分らない・無回答			
		子どもたちの指導に係る負担が軽減した		体験に必要な用具等の確保に係る負担が軽減した		農地等の確保に係る負担が軽減した		その他									
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率		
全体	213	124	58%	106	50%	71	33%	152	71%	179	84%	6	3%	19	9%	9	4%
教育ファームに該当する場合	79	54	68%	44	56%	35	44%	55	70%	70	89%	0	0%	5	6%	4	5%
教育ファームに該当しない場合	134	70	52%	62	46%	36	27%	97	72%	109	81%	6	4%	14	10%	5	4%

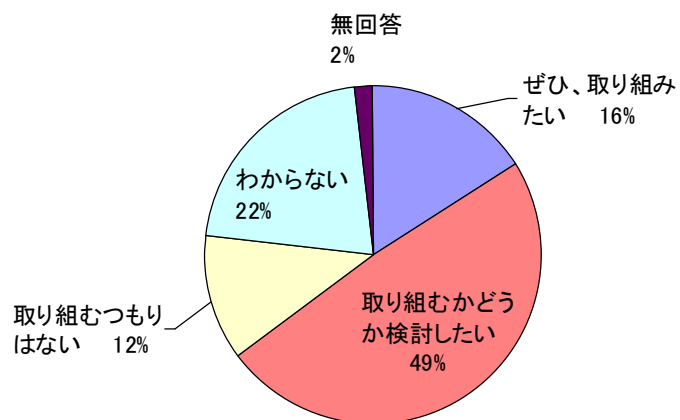
※学校アンケート結果により

(2)生産者・食品事業者における教育ファームに係る取組の問題点

①生産者における取組の問題点

農林漁業体験活動に取り組んでいない生産者の約2/3が、取組に対して肯定的な意向を持っている。

○農林漁業体験活動に対する取組意向



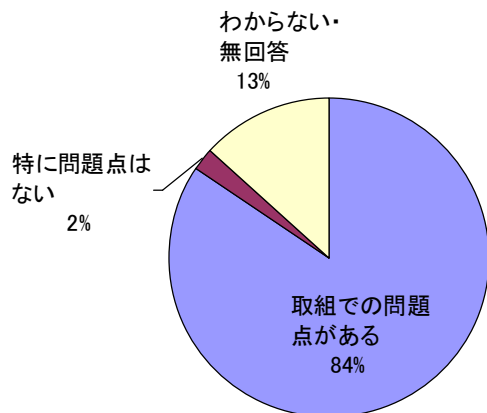
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない生産者	ぜび、取り組みたい	取組むかどうか検討したい	取組むつもりはない	わからない	無回答
249	40	121	30	54	4
100%	16%	49%	12%	22%	2%

※ 農林水産情報交流モニター(農業者・漁業者モニター)アンケート結果より

一方、新たに農林漁業体験活動に取り組むにあたっては、多くの生産者が問題点があると回答している。

○農林漁業体験活動にあたっての問題点の有無



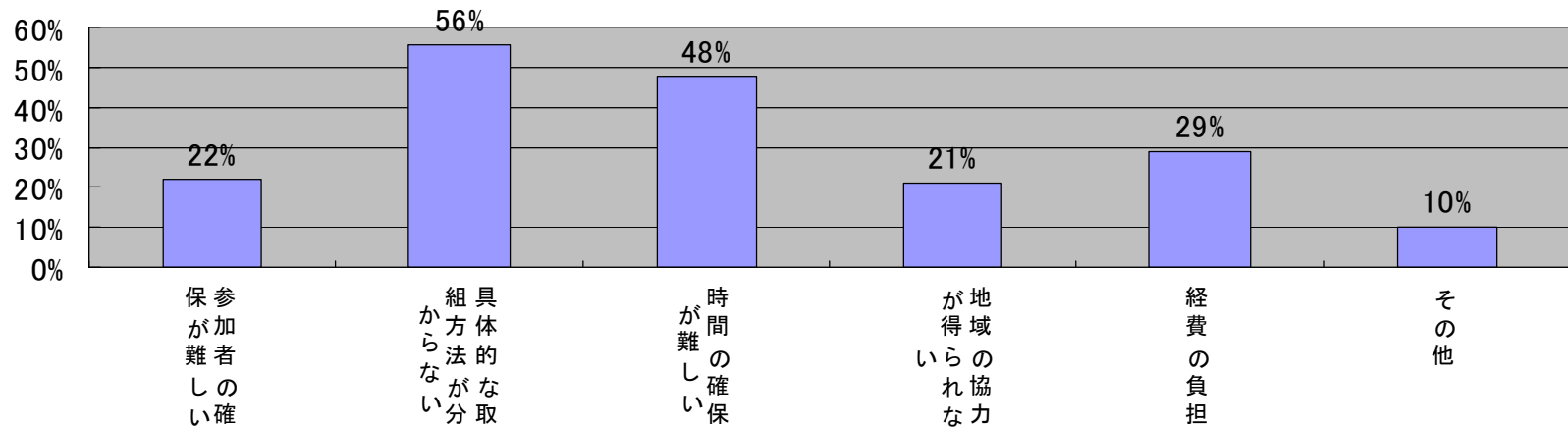
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない生産者	取組での問題点がある		特に問題点はない		わからない・無回答	
	比率	比率	比率	比率		
249	210	84%	6	2%	33	13%

※ 農林水産情報交流モニター(農業者・漁業者モニター)アンケート結果より

新たに、取り組むにあたっての問題点では、約6割近くの生産者が具体的な取組方法が分からないことを上げている。

○取組にあたっての問題点(複数回答)



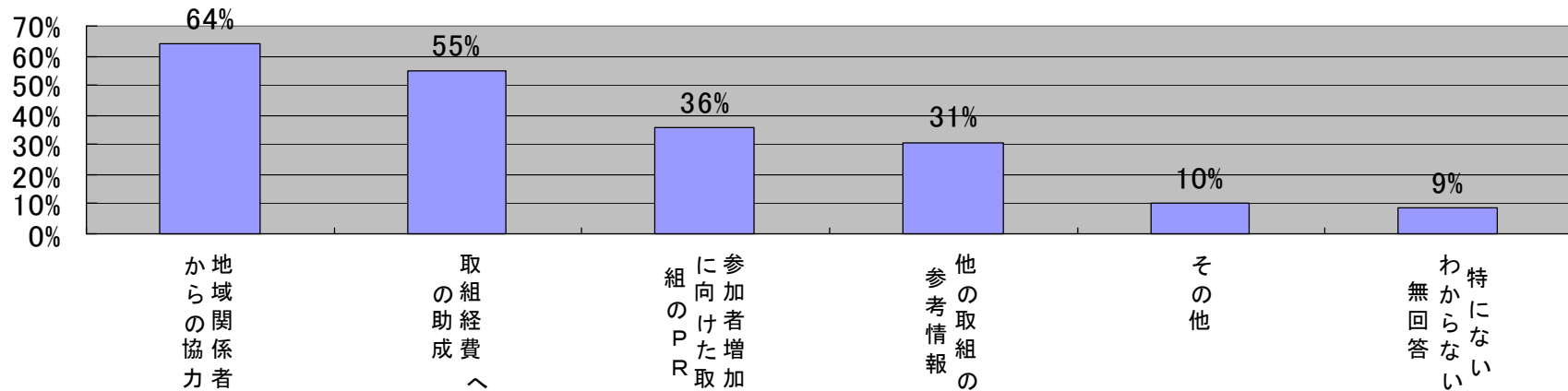
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない生産者	取組にあたっての問題点 (複数回答)											
	参加者の確保が難しい		具体的な取組方法が分からない		時間の確保が難しい		地域の協力が得られない		経費の負担		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
249	56	22%	139	56%	119	48%	53	21%	71	29%	25	10%

※ 農林水産情報交流モニター(農業者・漁業者モニター)アンケート結果より

一方、既に農林漁業体験活動に取り組んでいる生産者の多くが、取組の一層の充実を図るための課題があるとし、約2/3の生産者が取組の充実には地域関係者からの協力を必要としている。

○内容の一層の充実に向けた課題(複数回答)



<データ>

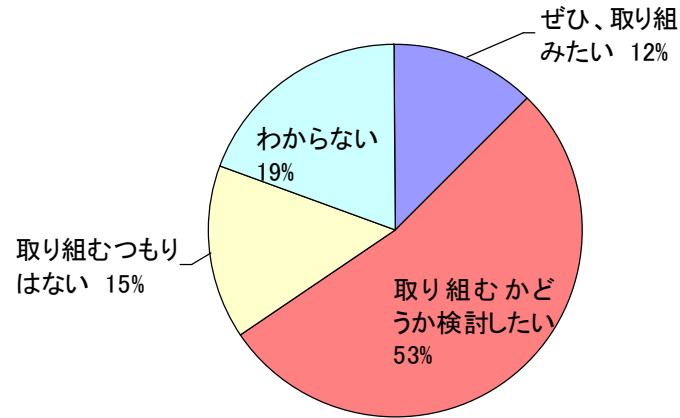
農林漁業体験活動に取り組んでいる生産者	より一層の内容充実を図るために必要な事項がある(複数回答)											特にないわからない無回答		
	地域関係者からの協力		取組経費への助成		参加者増加に向けた取組のPR		他の取組の参考情報		その他		その他		特にないわからない無回答	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
80	51	64%	44	55%	29	36%	25	31%	8	10%	73	91%	7	9%

※ 農林水産情報交流モニター(農業者・漁業者モニター)アンケート結果より

②食品事業者における取組の問題点

農林漁業体験活動に取り組んでいない食品事業者の約2/3が、取組に対して肯定的な意向を持っている。

○農林漁業体験活動に対する取組意向



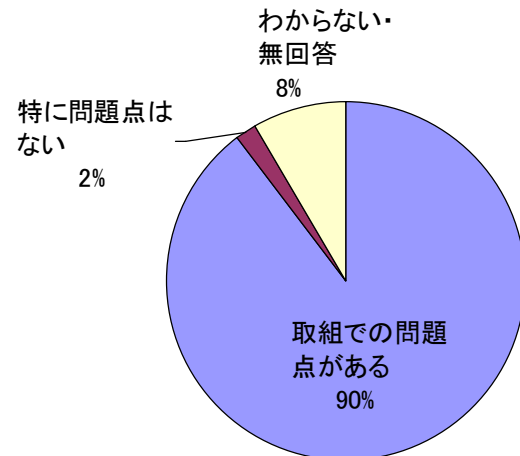
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない食品事業者	ぜひ、取り組みたい	取り組むか検討したい	取り組むつもりはない	わからない	無回答
145	18	77	22	28	0
100%	12%	53%	15%	19%	0%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

一方、新たに農林漁業体験活動に取り組むにあたっては、多くの食品事業者が問題点があると回答している。

○農林漁業体験活動にあたっての問題点の有無



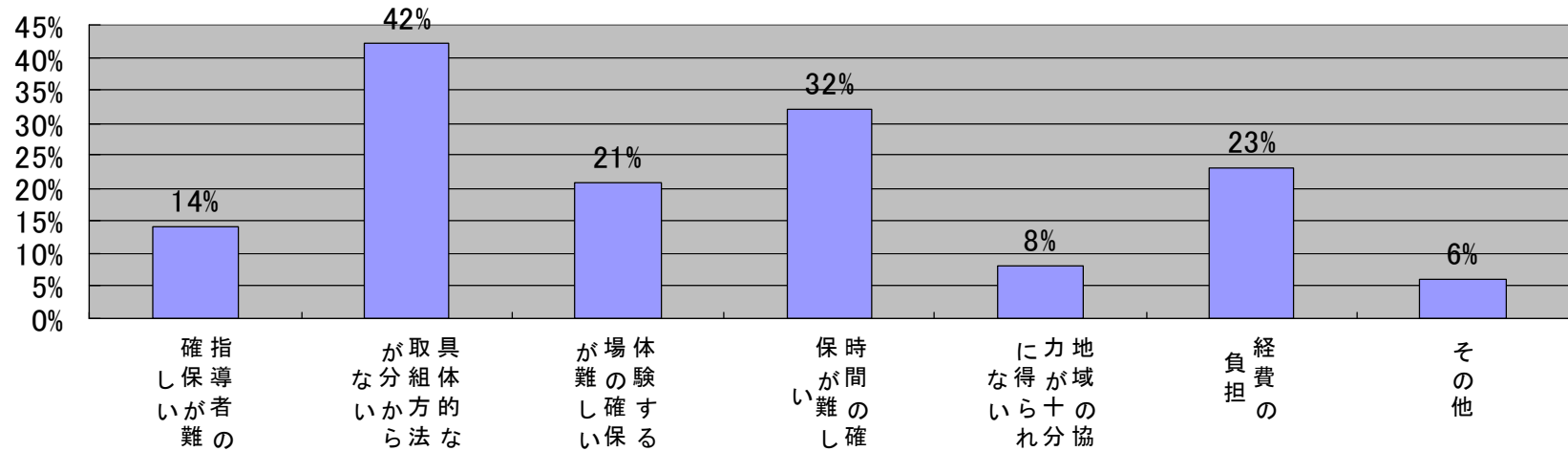
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない食品事業者	取組での問題点がある		特に問題点はない		わからない・無回答	
	比率	比率	比率	比率		
145	130	90%	3	2%	12	8%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

新たに、取り組むにあたっての問題点では、約4割強の食品事業者が具体的な取組方法が分からないことを上げている。

○取組にあたっての問題点(複数回答)



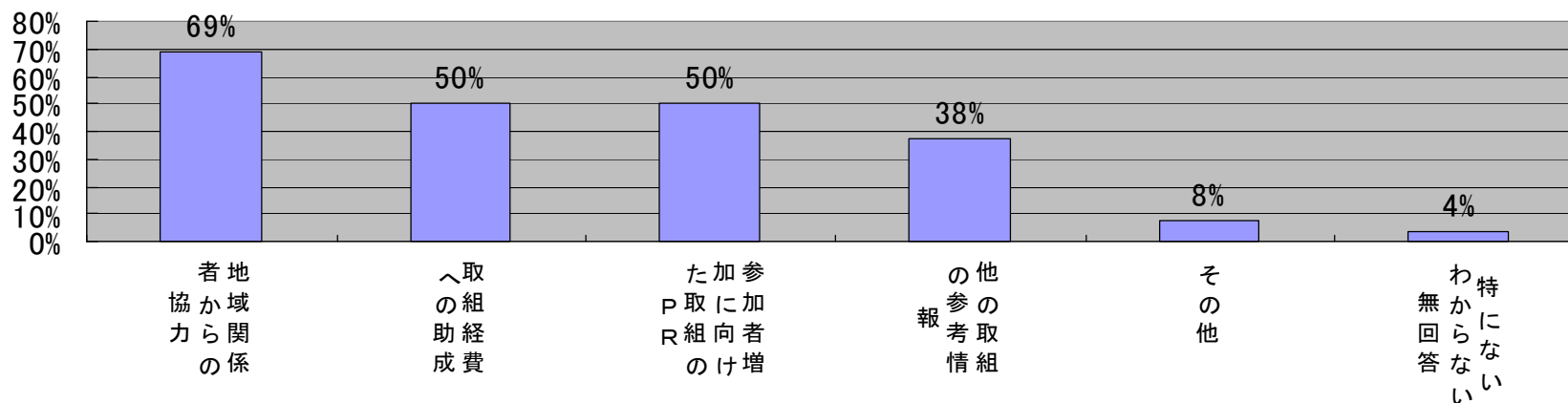
<データ>

農林漁業体験活動に取り組んでいない食品事業者	取組にあたっての問題点 (複数回答)													
	指導者の確保が難しい		具体的な取組方法が分からない		体験する場の確保が難しい		時間の確保が難しい		地域の協力が十分に得られない		経費の負担		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
145	20	14%	61	42%	30	21%	47	32%	11	8%	33	23%	8	6%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

一方、既に農林漁業体験活動に取り組む食品事業者の殆どが、取組の一層の充実を図るための課題があるとし、約2/3以上の食品事業者が取組の充実には地域関係者からの協力が必要とし、約半数が参加者増加に向けたPRが必要と考えている。

○内容の一層の充実に向けた課題(複数回答)



<データ>

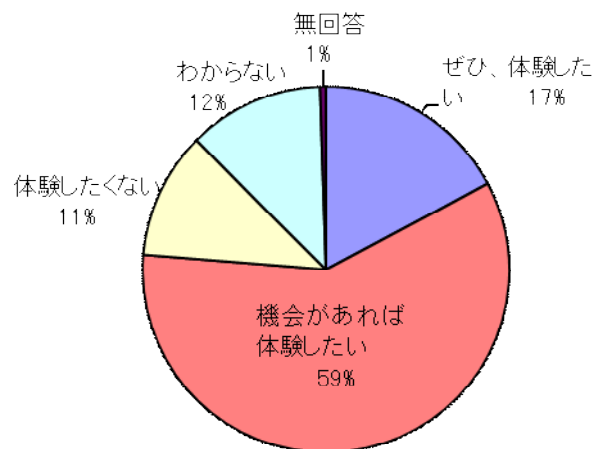
農林漁業体験活動に取り組んでいる食品事業者	より一層の内容充実を図るために必要な事項がある(複数回答)											特にない・わからない・無回答		
	地域関係者からの協力		取組経費への助成		参加者増加に向けた取組のPR		他の取組の参考情報		その他		比率		比率	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
26	18	69%	13	50%	13	50%	10	38%	2	8%	25	96%	1	4%

※ 農林水産情報交流モニター(流通加工業者モニター)アンケート結果より

(3) 消費者の教育ファームに係る体験における問題点

消費者の多くは、農林漁業体験への参加を希望している。

○消費者の農林漁業体験に対する意向



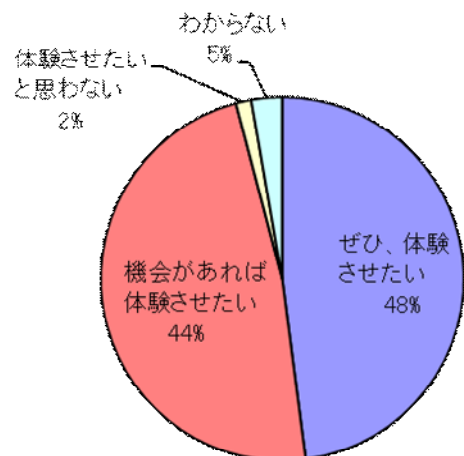
<データ>

回答総数	ぜひ、体験したい	機会があれば体験したい	体験したくない	わからない	無回答
768	132	454	86	92	4
100%	17%	59%	11%	12%	1%

※ 農林水産情報交流モニター(消費者モニター)アンケート結果及び一般消費者を対象にしたアンケート結果より

保護者の多くは、子どもや孫(中学生以下)の農林漁業体験を希望している。

○子どもや孫の農林漁業体験に対する意向



<データ>

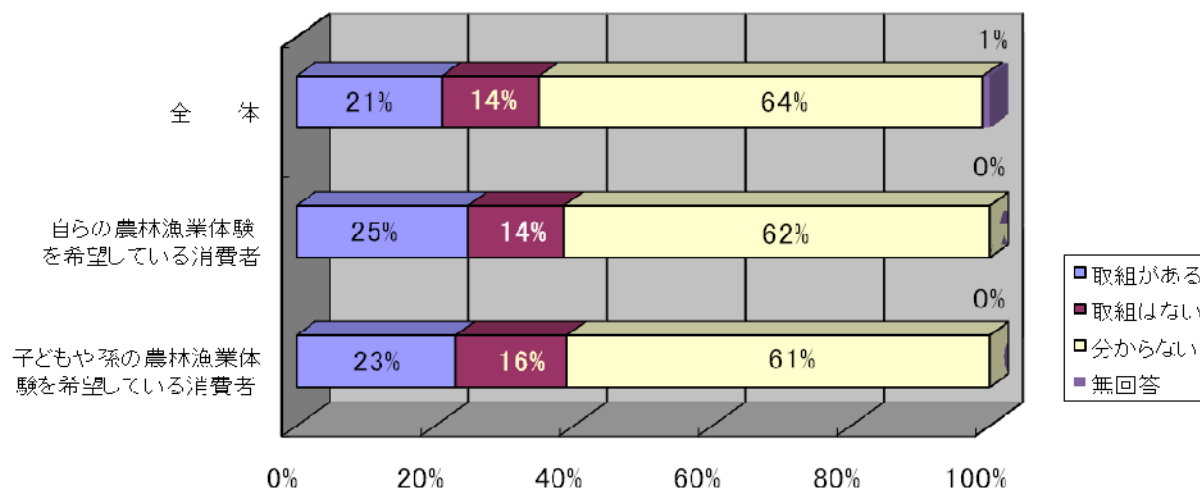
子どもや孫を持つ消費者	ぜひ、体験させたい	機会があれば体験させたい	体験させたいと思わない	わからない	無回答
281	136	124	6	14	1
100%	48%	44%	2%	5%	0%

※ 回答者のうち中学生以下の子どもや孫を家族に持つ消費者を対象。

※ 農林水産情報交流モニター(消費者モニター)アンケート結果及び一般消費者を対象にしたアンケート結果より

地域において体験できる農林漁業体験の取組を知っている消費者は約2割であり、約2／3が地域における取組の有無がわからないとしており、多くの消費者が地域の取組情報を十分に得ていない。

○地域における農林漁業体験の取組に対する認知状況



<データ>

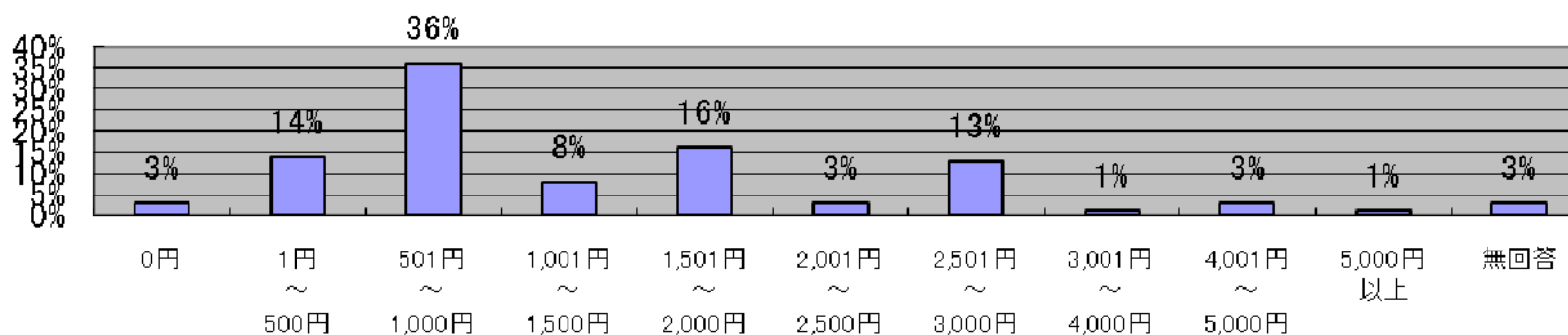
回答数		地域において体験できる農林漁業体験の取組状況について						無回答	
		取組がある		取組はない		わからない			
		比率	比率	比率	比率				
全体	768	162	21%	107	14%	494	64%	5	1%
自らの農林漁業体験を希望している消費者	586	144	25%	79	14%	362	62%	1	0%
子どもや孫の農林漁業体験を希望している消費者	260	60	23%	42	16%	158	61%	0	0%

※ 農林水産情報交流モニターアンケート(消費者モニター)結果及び一般消費者を対象にしたアンケート結果より

学校・生産者・食品事業者のいずれも経費の負担を問題点としているが、消費者の殆どが、体験に対する対価を支払うことに理解がある。

体験1回あたりの一人分の負担額として、501円～2,000円の範囲を希望する消費者が約6割を占めている。

○体験への参加負担金に対する希望額



<データ>

回答総数	0円	1円～500円	501円～1,000円	1,001円～1,500円	1,501円～2,000円	2,001円～2,500円	2,501円～3,000円	3,001円、～4,000円	4,001円～5,000円	5,000円以上	無回答
586	15	80	209	48	92	18	78	8	15	3	20
100%	3%	14%	36%	8%	16%	3%	13%	1%	3%	1%	3%

※ 農林水産情報交流モニターアンケート結果及び一般消費者を対象にしたアンケート結果より